

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R4年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開	
111	1	1	1	1	特産品開発及び農業の6次化研修事業	商工観光G	1件	特産品の開発	累計5品以上	累計10品以上	0件	継続	累計3件 ※R3 3件	継続	累計3件 ※R4 0件	継続	①評価項目の要因 本格的な開発に向けた検討を実施。上川町商工会で実施した「むらおこし総合活性化事業」において、新たに地場産品を活用した特産品開発を検討。 ②今後の展開 R5特産品開発を商工会が中心となり実施。町も補助金を拠出し支援。R6以降も開発を進める予定。
112	2	1	1	2	事業承継・新規開業支援補助の推進事業	商工観光G	4件	新規開業者数	累計5件	累計10件	5件	継続	累計8件 ※R3 3件	継続	累計10件 R4 2件	達成	①評価項目の要因 事業承継・新規開業支援補助事業などを活用した新規開業者数が増えている。 ・王子サーモンロード(株) ・(株)GypsyFireStresm ②今後の展開 企業誘致条例などの開業を後押しできるような支援内容の周知を積極的に実施したい。
113	3	1	1	3	企業誘致条例による企業誘致の推進	企画G	0件	新規開業者数	新規開業者数 5件	新規開業者数 10件	5件	継続	累計8件 ※R3 3件	継続	累計10件 R4 2件	達成	①評価項目の要因 事業承継・新規開業支援補助事業などを活用した新規開業者数が増えている。 ・王子サーモンロード(株) ・(株)GypsyFireStresm ②今後の展開 企業誘致条例などの開業を後押しできるような支援内容の周知を積極的に実施したい。
114	4	1	1	4	地熱・温泉資源活用の推進	企画G	0件	再生可能エネルギー利活用事業	再生可能エネルギー 利活用事業 累計 1件	再生可能エネルギー 利活用事業 累計 2件	0件	継続	1件	継続	0件	継続	①評価項目の要因 層雲峡キャンプ場の整備が令和元年度から始まっており、環境に配慮した再生可能エネルギー(バイオマスボイラー)の導入を実施した。 ②今後の展開 カーボンニュートラルをめざし、今後SDGsなどと連動させた地球温暖化計画の更新を検討していくため、協議会の立上げ及び再生可能エネルギー導入目標数値をR4年度に策定予定。

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R4年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
	1	2	3													
121	5	1	2	1	観光振興の充実事業	499,432人	宿泊者数	宿泊者数 年間65万人	宿泊者数 年間70万人	157,639人	継続	152,944人	継続	291,235人	継続	①評価項目の要因 新型コロナウイルス感染症の影響による宿泊者数の減 ②今後の展開 アフターコロナに向け、観光プロモーションや上質・滞在型の活性化計画の策定に向けた協議会の設立。
121	5	1	2	1	観光振興の充実事業	157,198人	外国人観光客 宿泊者数	年間25万人	年間30万人	49人	継続	54人	継続	2,192人	継続	①評価項目の要因 新型コロナウイルス感染症の影響による宿泊者数の減 ②今後の展開 インバウンド集客に向け、観光プロモーションの実施。またパンフレットや案内板の多言語化を今後進めていく。
						52.7%	層雲峡温泉客 室年間稼働率	65.0%以上	67.0%以上	17.1%	継続	16.3%	継続	33.90%	継続	①評価項目の要因 新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要が大きく減少した。 ②今後の展開 アフターコロナに向けた国内外の観光プロモーションを層雲峡観光協会や旭川誘致協、大雪カムイミタラDMO等と連携強化し、国内外の観光客誘致を図る。
121	6	1	2	1	官民連携による重点地区国内外プロモーション事業	1,586,501人	観光客数	年間 180万人	年間 190万人	548,395人	継続	423,913人	継続	934,163人	継続	①評価項目の要因 新型コロナウイルス感染症の影響による観光客数数の減 ②今後の展開 観光プロモーションの実施。ATWSの評価を基に、インバウンド向けの滞在型アクティビティの構築を今後進めていく。
121	7	1	2	1	情報配信システム整備事業 (WiFi整備)	0箇所	Wi-Fi設置数	3箇所増 (7か所→10か所)	5箇所増 (7か所→12か所)	4箇所増 累計11箇所	継続	0箇所増減なし 累計11箇所	継続	1箇所増 累計12箇所	達成	R4年度 ①評価項目の要因 【R3まで】→公民館図書(かみんぐホール)、上川駅、森のテラス、写真M、黒岳の湯、層雲峡プロムナード広場、滝ミタラ、役場、紅葉谷、たいせつの絆、NUKUMO 計11箇所 【R4年度】→層雲峡オートキャンプ場 1箇所 合計12箇所 ②今後の展開 デジタル社会への対応のため、未整備の公共施設への導入を検討する
121	8	1	2	1	大雪カムイミタラDMOによる都市型スノーリゾート地域構築事業	1,504千泊	DMO圏域観光 宿泊延数(千泊)	年間1,910千泊 ※R2目標	-	現在、DMO で集計中	評価不能	R2で事業終了				
						352千泊	DMO圏域冬季 12月～3月観光 宿泊延数(千泊)	年間520千泊 ※R2目標	-	現在、DMO で集計中	評価不能					
						68千円	旅行消費額(千 円/人)	48千円 ※R2目標	-	現在、DMO で集計中	評価不能					

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R4年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
121	9	1	2	1	移住定住G	104,984円	外国人観光客 (新千歳空港入国)旅行消費単価	107,062円 ※R3目標	-	現在、道庁担当課で集計中	評価不能	感染症の影響により 数値の基となる観光庁調査が未実施のため、測定不可	評価不能	-	評価不能	R4年度事業未実施
						2,722,587人	欧米豪・中国からの来道者の延べ宿泊数	3,630,117円 ※R3目標	-	現在、道庁担当課で集計中		感染症の影響により 数値の基となる観光庁調査が未実施のため、測定不可	評価不能	-	評価不能	
122	10	1	2	2	新規就農者誘致特別措置奨励金事業	5人	新規就農者	累計 5人	累計 8人	0人	継続	5人	達成	累計 10人 ※R4 4人	達成	①評価項目の要因 令和4年度より新規就農者等誘致特別措置規則改正し町単独事業として家賃補助を追加支援事項としたことで結果条件の良い採用に繋がったと考える。 ②今後の展開 農業者の高齢化が進んでおり今後も雇用者を含めた新規就農者に支援の幅を広げることで、農業者の呼び込みと定着を図ってきたい。
123	11	1	2	3	農林水産G	1人	林業関連就業者数	累計5人	累計10人	3人	継続	0名	継続	累計5名 ※R4 2名 ※4名離職	継続	①評価項目の要因 従事者については、定着が課題 ②今後の展開 林業の新たな仕事づくりを行い、魅力化を行う
						4施設	バイオマスボイラー導入施設	3施設増加 (累計7施設)	5施設増加 (累計9施設)	0施設	継続	0施設	継続	0施設	継続	①評価項目の要因 バイオマスボイラーのインシヤルコストが高価木材価格の高騰による燃料高騰②今後の展開 関係各所への強力依頼
124	12	1	2	4	企画G	1,586,501人	観光客数	年間180万人	年間190万人	548,395人	継続	423,913人	継続	934,163人	継続	①評価項目の要因 新型コロナの影響が明けてきたことで観光客は戻りつつある。観光客を受け入れる体制づくりとして、啓発グッズの作成・配付と中学生を対象としたレストラン研修を実施してきている。 ②今後の展開 今後は、事業者向けの研修会の実施と啓発グッズの作成・配付・周知方法の更なる工夫を検討。

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号				事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)年度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R4年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開	
211	13	2	1	1	トライアル移住とローカルベンチャー支援を核にした移住定住促進プロジェクト	移住定住G	—	年間社会増減数(人)	0人 ※R2目標	—	-70人	継続	R2で事業終了					
							—	商品開発・実証活動等に対する支援業務を活用して町内へ移住した人数(人)	累計24人 ※R2目標	—	累計19名	継続						
							—	週末移住活動拠点施設を利用して週末移住を实践した人の延べ人数(人)	年間800人 ※R2目標	—	504人	継続						
211	13	2	1	1	トライアル移住とローカルベンチャー支援を核にした移住定住促進プロジェクト	移住定住G	—	本事業を通じた新たなビジネス創出件数(件)	累計5件 R2目標	—	累計10件	継続	R2で事業終了					
							169件	移住相談件数	累計50件	累計100件	84件	継続						
							未実施	ちよつと暮らし体験施設利用件数	累計25件	累計40件	1件	継続						
							—	サテライトオフィス等利用企業件数	累計10件	サテライトオフィス等利用企業件数累計20件	0件	継続						
211	14	2	1	1	世界に誇る通年型山岳リゾートタウン実現プロジェクト	移住定住G	671千円	上川町版DMOにおける旅行商品等売上収入額(千円)	年間30,500千円 ※R4目標	—	7,375千円	継続	2,019千円	継続	2,874千円	継続	①新型コロナウイルス感染症による観光需要の落ち込みから。 ②R4年度をもって当該交付金事業が終了。	
							3,119人	アウトドア拠点施設(町有キャンプ場)の利用者数(人)	年間11,000人 ※R4目標	—	3,343人		6,097人	継続	7,032人	継続		
							15.7万人	上川町内における外国人宿泊客数(万人)	年間27万人 ※R4目標	—	0.005万人		54人	継続	4.8万人	継続		
							34.3万人	上川町内における国内宿泊者数(万人)	年間44.6万人 ※R4目標	—	16.5万人		152,944人	継続	25.4万人	継続		

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R4年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
212	15	2	1	2	就業支援事業	—	無料職業紹介所マッチング件数	年間2件	年間2件	1件	継続	実績値0件	継続	0件	継続	①求職に対する問い合わせは複数あったが、マッチングには至らなかった。また、無料職業紹介所(上川町役場)を介さずに、直接事業者への問い合わせ及びマッチングが行われていることや商工会、社会福祉協議会の窓口を利用していることも要因と考えられる。 ②新規求人情報の掲載や既存の求人情報更新、パンフレットの周知等。
213	16	2	1	3	生涯学習事業	—	公民館講座開設数	14講座	17講座	4講座 6回開催	評価不能	7講座 11回開催	評価不能	9講座 18回開催	継続	新型コロナウイルス感染が沈静化し、公民館講座の開設が比較的容易になった、一方でワクチン接種による会場の使用が多くなり、講座の開設数が伸びなかった。 今後については、社会教育中期振興計画に基づきニーズにあった事業を計画・実施していく。
							公民館講座参加延べ人数	200人	200人	延べ110人	評価不能	延131人	評価不能	延165人	継続	
221	17	2	2	1	空き家・空き家バンク情報発信事業	5件	不動産物件情報登録件数	年間5件	年間5件	8件	継続	6件	継続	2件	継続	①H30年度からの事業実施により、登録可能な物件数が減少していると考えられるため。 ②継続して空き家調査の結果から、利活用可能な物件へ空き家バンクの情報を周知することや町内において相談会を行うことで空き家の利活用を促進する。
222	18	2	2	2	空き家改修支援事業・住宅建築促進支援事業	9件	空き家改修支援・住宅建築支援件数	年間5件	年間5件	4件	継続	3件	継続	3件	継続	①空き家の売買・賃貸が減少していたことから、空き家改修支援事業補助金の利用数が0件だったため。 ②空き家バンクへの登録促進や広報誌、回覧文書等で補助金の周知を行っていく。
223	19	2	2	3	リフォーム補助事業	50	リフォーム補助件数	年間23件	年間23件	22	継続	23件	継続	33件	達成	①評価項目の要因 昨年度と比較し、10件増加した。事業実施から10年経過し、広く認知され、事業活用を検討する町民からの問い合わせ等の件数も多く、今後も増加が見込まれる。 ②今後の展開 解体、浄化槽、融雪槽、エコ・バリアフリーなど新エネルギーを中心とした事業への関心の高まりもあることから、今後、補助対象リフォーム等の各内容等の見直しを検討し、地域環境の整備、住宅環境、雪対策の向上、経済の振興を図る。
231	20	2	3	1	サテライトオフィス等誘致事業	—	サテライト・オフィス等利用企業件数	累計10件(年平均2件)	累計20件(年平均2.5件)	0件	継続	PORTOにおける年間バス利用企業数1件(環境省)	継続	PORTOにおける年間バス利用企業数1件(環境省)	継続	①交流スペースPORTOの開設により、町内外からの訪問者が立ち寄るスペースとして町内を中心に認知が広がっている。KPIにおける利用企業件数は1件であるが、企業単位ではなく、企業の従業員やフリーランスとして、活用されるケースが多い。②オフィスを管理している民間企業と協同しながら、町内・町外企業の受入れを推進していく。

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R4年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開	
232	21	2	3	2	上川町ふるさと応援寄付事業	企画G	1,673件	ふるさと納税寄 附件数	年間 1,500件	年間 1,800件	4,392件	達成	達成	3,916件	達成	①評価項目の要因 昨年度に引き続き、はちみつと日本酒が人気であった。1年間で 多くの広告を打ったことにより、サイトのユーザーの拡大及び寄附 につながった。 ②今後の展開 今後も継続してふるさと納税の冊子やポスターの作成及び大雪山 レーベル(特産品特設サイト)などの媒体の活用や現地決裁型の 端末を導入したので、イベントなどに活用していく。	
311	22	3	1	1	安心して出産するための支援事業	健康増進G	100%	①妊産婦健康 診査の受診率	90%以上	90%以上	100%	継続	100%	継続	100%	継続	①評価項目の要因 妊産婦健診を必要な時期に利用しているかを評価 ②今後の展開 個々の妊娠届出週数や産院によって受診回数に差はあるが、全 員が必要な受診間隔で受診している現状であり、これを維持する
							100%	②妊産婦交通 費助成の利用 率	100%	100%	100%	継続	100%	継続	100%	継続	①評価項目の要因 妊娠中・産後を通じ、受診回数に応じて妊産婦が助成事業を活用 しているかを評価 ②今後の展開 健康相談・訪問を通じ申請を促し、全妊産婦が申請している現状 であり、これを維持する
311	23	3	1	1	子ども医療費助成事業	医療給付G	H31 19人	年間出生数	累計110人	累計194人	14人	継続	11人	継続	5人	継続	①評価項目の要因 子ども医療費助成事業の有無によらず、生産人口の転出や子ども の出産ができる世帯・年代の人口が少ないことが出生数の減と なっている。 ②今後の展開 事業の継続と移住定住の政策により、生産人口の増加及び子ども の出産ができる世帯・世代の人口を増加を図る
							H27 357人	年少人口	330人(国調)	330人(国調)	R2国調数値 未公表	継続	263人(国調)	継続	263人(国調)	継続	①評価項目の要因 子ども医療費助成事業の有無によらず、生産人口の転出や子ども の出産ができる世帯・年代の人口が少ないことが出生数の減と なっている。 ②今後の展開 事業の継続と移住定住の政策により、生産人口の増加及び子ども の出産ができる世帯・世代の人口を増加を図る
311	23	3	1	1	子ども医療費助成事業	医療給付G	263人	年少人口	328人(年度末住 基)	345人(年度末住 基)	244人(年度 末住基)	継続	235人(年度末住基)	継続	225人(年度末住基)	継続	①評価項目の要因 子ども医療費助成事業の有無によらず、生産人口の転出や子ども の出産ができる世帯・年代の人口が少ないことが出生数の減と なっている。 ②今後の展開 事業の継続と移住定住の政策により、生産人口の増加及び子ども の出産ができる世帯・世代の人口を増加を図る
311	24	3	1	1	出産祝い品贈呈	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間平 均22人)	累計 194人(年間平 均23.6人)	令和2年度出 生数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	令和4年度出生数 6人	継続	①評価項目の要因 出産等に係る支援制度の取り組みを引き続き推進することで、上 川町での出産・子育て環境の魅力創出につながる。
							263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度 末住基)	継続	235人(年度末住基)	継続	225人(年度末住基)	継続	②今後の展開 関係各課と連携し、町に由来する新しい出産祝品の検討を行う。

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号				事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R4年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
311	25	3	1	1	出産祝金の贈呈	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間平均22人)	累計 194人(年間平均23.6人)	令和2年度出生数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	令和4年度出生数 6人	継続	①評価項目の要因 出産等に係る支援制度の取り組みを引き続き推進することで、上川町での出産・子育て環境の魅力創出につながる。 ②今後の展開 第3子に対し祝い金100千円を支給。
							263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度末住基)	継続	235人(年度末住基)	継続	225人(年度末住基)	継続	
312	26	3	1	2	施設型給付事業	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間平均22人)	累計 194人(年間平均23.6人)	令和2年度出生数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	令和4年度出生数 6人	継続	①評価項目の要因 ・子育て世代の経済負担である保育料等の軽減を図ることで、上川町での子育て環境の魅力創出につながる。 ②今後の展開 ・R6年度まで引き続き財政支援を継続。 ・R7年度より認定こども園開設に併せて私立幼稚園が閉園予定
312	26	3	1	2	施設型給付事業	介護福祉G	263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度末住基)	継続	235人(年度末住基)	継続	225人(年度末住基)	継続	
312	27	3	1	2	一時預かり運営事業	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間平均22人)	累計 194人(年間平均23.6人)	令和2年度出生数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	令和4年度出生数 6人	継続	②今後の展開 ・R6年度まで引き続き財政支援を継続。 ・R7年度より認定こども園開設に併せて私立幼稚園が閉園予定
							263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度末住基)	継続	235人(年度末住基)	継続	225人(年度末住基)	継続	
313	28	3	1	3	上川ジャンプアップひろば・地域未来塾事業	社会教育G	—	学習支援の提供	年間7日間開催	年間7日間開催	1日間開催	評価不能	5日間の開催	評価不能	12日間の開催	達成	ジャンプアップひろばについては、従前から参加者も多く開催できていることから、事業を引続き継続していくものとする。 地域未来塾については、中学生の参加者数が伸びないことから、今後対応が必要となる。地域未来塾(高校生版)については、事業が高校生間に浸透しており参加者についても増加傾向であることから、引続き事業を継続。
								参加者延べ人数	学習支援参加者数延170人の参加	学習支援参加者数延170人の参加	17人参加	評価不能	207人参加	評価不能	426人参加	達成	
314	29	3	1	4	上川高校魅力活性化事業	企画G	37人	上川高校の入学者数	毎年20人以上	毎年20人以上	17人	継続	14人	継続	25人	継続	①評価項目の要因 私立高校の無償化の影響などで減少していたが、令和3年度から本格的に動いている本事業による魅力化・広報宣伝等の効果や、タブレット端末の支援・海外研修の実施などによって増加したことが要因だと考えられる。 ②今後の展開 「上川高校×地域」をテーマに地域住民から可愛がられる上川高校生をめざし、今後の高校魅力化に係るカリキュラム・ビジョンなどの検討を行っていく。
321	30	3	2	1	結婚支度金支給事業	企画G	0件	年間婚姻数	年間婚姻数累計100件(年間平均20件)	年間婚姻数累計160件(年間平均20件)	9件	継続	8件	継続	3件	継続	①評価項目の要因 上川町に住民票があつて婚姻届けを提出した方を対象とした。昨年同様に上川町内における生産人口が少ないため、結婚数の減とつながっている。 ②今後の展開 上川町独自の結婚支援金制度など結婚を後押しできる施策の検討が必要。
322	31	3	2	2	出会いの場の創出事業	企画G	0回	出会いの場の創出	年に1回交流会を開催	年に1回交流会を開催	0回	継続	0回	継続	1回	達成	①評価項目の要因 上川町農村パートナー推進協議会主催で若手農家と若年層との交流事業「かみかわの農業を知ろう」が開催され、普段交流が無い職種などの若年層を中心に若手農家との交流が行われた。 ②今後の展開 町外出身者が求めることとして、結婚相手を探すよりもまずは知人として共通の趣味でつながりたい意向が強い傾向にあるので、今後は異性の出会いの場のみならず多種多様にコミュニティを形成する場の創出を検討する。

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R4年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開	
411	32	4	1	1	産業振興支援補助の推進事業	商工観光G	2件	産業振興補助 の活ユーザー数	累計5件	累計10件	3件	継続	累計8件 ※R3 5件	継続	累計13件 ※R4 5件	達成	①評価項目の要因 町内事業所に対する事業に要する設備投資へ助成措置を行い 地域経済の発展及び産業の振興に寄与している。 ②今後の展開 産業振興補助事業の周知を行うとともに、町内事業所に対する事業 に要する設備投資へ助成措置を行い、地域経済の発展及び産業 の振興を図る。
412	33	4	1	2	上川町マスコットキャラクター情報 発信事業	企画G	1,858人 ※R2年10月	Twitter登録人数	2,420人(※R2年10 月1,858人)	2,800人(※R2年10 月1,858人)	2314人 フォロワー (※R3年8月 13日時点)	継続	2,767人 (R4年10月17日 時点) 453人増※前年 度比	達成	3,043人 (R5.12.21時点) 276人増 ※前年度比	達成	①評価項目の要因 前年度に比べイベントや行事等の開催が増えており、SNSの発 信の機会が増えていることが一因としてある。さらに発信媒体毎に ユーザーが存在しており、色々な媒体から発信することにより、多 くのユーザーに周知することが出来ている。令和3年度から運用が 始まったLINEについては、町のイベント情報をはじめ生活に関連 する情報の発信もできるようになり多くのユーザーがリアルタイムに 情報を受け取る機会が増えているが、LINEのシステム改修に伴う ブロックアカウントの登録解除により前年度比で大きく下がってい る。 ②今後の展開 どの世代がどのような情報を求めているかなど発信する情報の整 理とどの媒体を使って発信をしていくのかマーケティングを実施し ていきたい。また、LINEに関しては登録者の地域ごとに効果的な 情報を発信できるように運用を検討していく。
							559人 ※R2年10月	Facebook登録人数	730人(※R2年10月 559人)	850人(※R2年10月 559人)	582人 フォロワー (※R3年8月 13日時点)	継続	1,104人 (R4年10月17日 時点) 522人増※前年 度比	達成	1,211人 (R5.12.21 時点) 107人増 ※前年度比	達成	
							331人 ※R2年10月	Instagram登録人数	430人(R2年10月331 人)	500人(R2年10月331 人)	388人 フォロワー (※R3年8月 13日時点)	継続	1,539人 (R4年10月17日 時点) 1,151人増※前年 度比	達成	2,071人 (R5.12.21時点) 532人増 ※前年度比	達成	
							0人 ※R3年	LINE登録人数 (上川町公式 LINE)	2,475人(R4年10月 1,904人)	2,856人(R4年10月 1,904人)	新規	—	1,904人 (R4年10月17 日時点)	継続	1,034人 (R5.12.14時点) 870人減 ※前年度比	継続	
412	34	4	1	2	花いっぱいの会交付金事業	企画G	158事業所	商工会会員数	商工会会員数161事 業所維持	商工会会員数161事 業所維持	商工会会員 数 154事業所	継続	商工会会員数 152事業所	評価不能 ※令和3年度で 解散のため、令 和4年度は評 価対象外	R3年度で団体解散による事業終了		
413	35	4	1	3	いきいきセンターたいせつの絆の 利用促進	介護福祉G	171事業所	商工会会員数	商工会会員数161事 業所維持	商工会会員数161事 業所維持	商工会会員 数 154事業所	継続	商工会会員数 152事業所	継続	152事業所	継続	①評価項目の要因 多世代の人々が活用することにより、市街地の賑わいの醸成につ ながる。 ②今後の展開 いきいきセンターたいせつの絆の利用促進を図る。
414	36	4	1	4	公共施設等の適正な維持管理	財政G	80,629㎡	施設保有面積	73,372㎡ 9%の削減(7,257㎡ の減)	69,341㎡ 14%の削減(11,288 ㎡の減)	80,531㎡	継続	81,054㎡	継続	81360.46㎡	継続	①認定こども園建設に伴う既存土地に設置の物置(70.87㎡)取 得、望岳団地2棟(694.72㎡)の建設及び3棟(△589.68㎡)の除 却並びにサステナブルコンテンツ事業における木材高付加価値 化体験施設1棟(130.55㎡)の建設により施設保有面積の減少が できなかった。 ②各施設計画の見直しを図り、引き続き削減に努める。
421	37	4	2	1	災害情報伝達設備整備事業	情報防災	0団体	被災による死傷 者数	年間0人	年間0人	0人	継続	0人	継続	0人	継続	①評価項目の要因 R4年度の死者なし ②今後の展開 今後も防災無線を活用した訓練を実施し、安心安全なまちづくり を行ってきた。
								災害協定締結数	20団体	20団体	20団体	継続	21団体	継続	21団体	達成	①評価項目の要因 令和4年度中の新規締結なし ②今後の展開 令和5年度中に1団体(上川調査設計協会)と締結
422	38	4	2	2	後期高齢者における総合的な保健 事業	健康増進G	20.00%	健康診査受診率	18%以上	20%以上	17.77%	継続	18.87%	継続	18.50%	継続	①評価項目の要因 一人ひとりへの丁寧な保健指導により受診率を維持・向上してい きたい ②今後の展開 健康診査受診率20%以上

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R4年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
423	39	4	2	3	訪問診療体制整備事業	医療事務G	0件	訪問診療希望 に対する 未提供件数	未提供件数 年間0 件	未提供件数 年間0 件	0件	達成	未提供件数 年間0件	達成	未提供件数 年間0件	達成 ①評価項目の要因 令和4年度の訪問診療は109人、訪問看護と訪問リハビリは該当 なしであった。訪問診療が前年度より減少しましたが、引き続き高 い数値となっている。 ②今後の展開 未提供件数年間0を目指すとともに現行体制を継続する。
424	40	4	2	4	地域公共交通事業の推進	企画G	2,777人 ※令和元年 10月～	コミュニティバス 利用者数	年間4,000人	年間4,000人	4,698人	達成	4,882人	達成	5,273人	達成 ①評価項目の要因 昨年度同様「火曜日」と「金曜日」の乗車が多い現状と「大雪の絆」 前での乗降者が多い現状。ルートや時刻、利用方法など町民に 定着しつつある。 ②今後の展開 コミュニティバスは市街地の交通対策なので今後周辺地区の交通 対策も検討と運行から一定程度の期間が経過していることから、 利用者の声を確認しつつ、ルート等の見直しを検討する。
424	41	4	2	4	高齢者タクシー料金等助成事業	介護福祉G	18.83%	要支援・要介護 認定者の介護 保険被保険者 数割合(年度 末)	19.00%	19.00%	19.80%	継続	20.19%	継続	20.19%	継続 ①評価項目の要因 高齢者が引きこもりがちにならないよう、また高齢者の社会参加 や健康増進、生きがいある生活の一助となるよう継続とし、さらなる 介護予防を図っていく。 ②今後の展開 引き続き上記のための交通手段の確保として、継続して事業を 実施していく。周辺地域の交付額算定については、公平性の確保 の観点から内容について協議する。
431	42	4	3	1	高齢者等間口除雪事業	建設管理G	80件	高齢者等間口 除雪 事業件数	年間80件	年間80件	75件	継続	78件	継続	75件	継続 ①評価項目の要因 平成30年度から高齢者の対象年齢を80歳から75歳以上へと変 更しているが、申請件数が若干増加し続けて75歳以上対象となる 世帯が増えている。 ②今後の展開 引き続き75歳以上を対象年齢とし、世帯件数の増加を図る。
431	43	4	3	1	高齢者等屋根雪下ろし事業	介護福祉G	198件	除排雪費用助 成対象件数	200件	200件	204件	継続	201件	継続	208件	継続 ①評価項目の要因 自力で屋根の雪下ろしをすることが困難な方が、町で安心して 暮らせるよう本事業を活用していただくべく、引き続き利用件数に より評価する。 ②今後の展開 自力で屋根の雪下ろしをすることが困難な方が、町で安心して 暮らせるよう継続して事業を展開する。また、委託業者の人手不足 等の課題については引き続き協議する。
432	44	4	3	2	リフォーム補助事業(融雪槽)	建設管理G	50件	リフォーム補助 件数	年間23件	年間23件	0件	評価不能	0件	評価不能	0件	評価不能 ①評価項目の要因 評価不能 ②今後の展開 リフォーム補助に一括した事業となってから(H24)合計で5件の 申請しかなく、単独の評価は難しい。 再度制度の周知を図る。
441	45	4	4	1	し尿等一般廃棄物区域外処理事業	住民G	搬入率 100%	連携事業数	20事業	20事業	搬入率 100% (773,300)	継続	達成率 94.9% (1,159KL)	継続	達成率 94.9% (1,118KL)	継続 ①評価項目の要因 し尿の収集は町内業者が請け負い、し尿・汚泥の浄化処理を旭 川環境センターで行っている。 ②今後の展開 下水道への接続及び浄化槽の設置を推進することでし尿の収 集量を減らし、衛生的な生活環境を実現する。
441	46	4	4	1	愛別町外3町塵芥処理組合事業	住民G	搬入率 100%	連携事業数	20事業	20事業	搬入率 100% (1,658,820 kg)	継続	達成率 97.7% (133万kg)	継続	達成率 97.7% (182万kg)	継続 ①評価項目の要因 愛別町外3町で構成する組合で町内のゴミ処理について、広域 で処理を行っている。 ②今後の展開 ・今後も事業を継続する中で、プラスチックごみの分別、再利用等 の取り組みを進め、一般廃棄物の抑制に努める。 ・ゴミ処理施設の延命化工事を年次計画的に実施する。

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R4年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
442	47	4	4	2	ブロードバンド整備事業	情報・防災室	0地区	1地区増加	3地区増加	0地区	継続	8地区	達成		達成	①評価項目の要因 令和3年度に達成 ②今後の展開 引き続き快適なブロードバンド環境を地域に提供できるよう、通信環境及び基盤の維持管理を行う

令和2年度		令和3年度	
分類コード	34種類	分類コード	34種類
事業数	47種類	事業数	47種類
KPI項目	74種類 (70)種類	KPI項目	65種類

令和4年度	
分類コード	34種類
事業数	47種類
KPI項目	64種類

	令和2年度	令和3年度	増減(R3-R2)	令和4年度	増減(R4-R3)	備考
達成	3項目	8項目	5項目増	17項目	9項目増	NO.2事業継承・新規開業支援補助の推進事業 NO.3企業誘致条例による企業誘致の推進 NO.7情報配信システム整備事業(WiFi整備) NO.19リフォーム補助事業 NO.29上川ジャンプアップひろば・地域未来塾事業(2項目) NO.31出合いの場の創出事業 NO.32産業振興支援補助の推進事業 NO.37災害情報伝達整備事業(1項目・協定締結数)
継続	61(58)項目	49項目	12項目減	44項目	5項目減	
評価不能	10(9)項目	8項目	2項目減	3項目	5項目減	
(新規追加)	—	(1項目)	1項目増	—	—	
(事業終了)	—	(10項目)	10項目減	(1項目)	1項目減	NO.34花いっぱい会交付金事業
KPI合計	74(70)項目	65項目		64項目		

※R3年度から標記方法を一部修正 ()内数値は、昨年度報告